



エコアクション21 環境経営レポート

活動期間:2023年4月1日～2024年3月31日
改定日：2024年6月27日



人が好き、街が好き、クルマが好き



ネットトヨタ中部

目次

1.	会社概要	・・・P3
2.	環境経営方針	・・・P4
3.	環境管理実施体制（組織図）	・・・P5
4.	環境管理実施体制における役割	・・・P6
5.	環境経営計画	・・・P7
6.	環境経営目標と達成状況	・・・P8
7.	環境活動取組み事項	・・・P9～13
8.	環境関連法規の遵守、違反、訴訟等の有無	・・・P14
9.	次年度環境経営目標と環境経営計画	・・・P15
10.	代表者による全体評価と見直し指示	・・・P16

人が好き、街が好き、クルマが好き

ネット・ヨタ中部

会社概要

1.	本社	愛知県名古屋市名東区一社一丁目68番地	代表TEL：052-701-5111
2.	設立	昭和42年12月20日	
3.	資本金	5千万円	
4.	売上高	384億円（2023年度）	
5.	従業員数	415名（2023年3月31日現在）	
6.	代表者	代表取締役社長 小島武彦	
7.	環境責任者	責任者 取締役 後藤泰宏 担当者 総務G 服部達雄	
8.	事業内容	新車（トヨタ自動車株式会社）の販売、中古自動車の売買 自動車リース、自動車整備、自動車用品販売、保険代理店業務、携帯電話の販売	

環境経営方針

～基本理念～

私達は、環境問題への対応が社会的責任であることを認識し、自動車の販売、整備等全ての事業活動において、社会貢献、環境への配慮を通じて地球環境、地域社会の持続可能な発展に貢献する会社を目指します。

～基本方針～

1. 事業活動が環境に与える影響を正しく認識し、全社員で継続的な環境改善行動を励行します。
2. 環境に関する法律・規則・協定等を遵守し、環境保全レベルの向上を図ります。
3. 環境保全は発生源対策が不可欠であり、事業活動のすべての分野で省エネルギー、節水、省資源、確実なりサイクルの推進と廃棄物の削減、化学物質の適正な管理、汚染の予防に努めます。
4. 全社員に環境方針の理解と、環境保全の向上、環境管理の励行を図ります。
5. 環境監査を実施して、環境管理の維持向上を図ります。
6. お客様に車の環境情報を積極的に提供して、低燃費車、低公害車の普及を図ります。
7. 地域社会とのコミュニケーションを大切にし、地域の環境保護活動に協力します。

制定 2014年10月1日

改訂 2020年9月16日

ネッツトヨタ中部株式会社

代表取締役社長 小島 武彦

人が好き、街が好き、クルマが好き

ネッツトヨタ中部

環境管理実施体制（組織図）

【環境EA21事務局】			
推進者		/ 主担当	
改善推進部：武田圭司		服部達雄	
サービス部：横地健二		小嶋健司	
営業企画部：佐々木 崇		藤田 弘	

【代表取締役社長】
小島武彦

【環境管理責任者】
後藤泰宏

※エコアクション21の取り組みは
全組織・全活動を対象としています

UICAR春日井	プラザ浄水	プラザ赤池	UICAR米野木	プラザ米野木	プラザ梅坪	プラザ三好	プラザ上郷	プラザ美里	midress豊田	GR Garage	UICAR豊田	プラザ豊田	UICAR元宮	プラザ元宮	プラザ長久手	UICAR日進中央	プラザ日進中央	プラザ豊明	プラザ高蔵寺	プラザ瀬戸川西	プラザ春日井	プラザ吉根	プラザ守山	プラザ四軒家	プラザ千代田	プラザ楠	プラザ一社	本社・特販
----------	-------	-------	----------	--------	-------	-------	-------	-------	-----------	-----------	---------	-------	---------	-------	--------	-----------	---------	-------	--------	---------	--------	-------	-------	--------	--------	------	-------	-------

環境管理実施体制における役割

担当	役割・責任・権限	
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備・費用・時間・技能・技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標、環境活動計画書、環境レポートの承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 	
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめを承認 ・環境目標、環境活動計画書、環境活動レポートの確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・監査結果及び是正措置等の代表者への報告 	
環境・E A 2 1 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、E A 2 1 の推進 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成・公開（事務所に備え付けと地域事務局へ送付） 	（内部監査関連） <ul style="list-style-type: none"> ・内部監査委員会の開催（監査結果のヒアリング） ・内部監査計画の策定 ・内部監査を上記計画に沿って実施し、環境管理責任者に報告 ・内部監査の結果に基づき改善項目の進捗状況を確認 ・改善が必要な事項に対する是正指導及び、改善の確認
環境責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門（各拠点）における環境経営システムの実施 ・自部門（各拠点）における環境方針の周知 ・自部門（各拠点）の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門（各拠点）に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門（各拠点）の特定された緊急事態への対応の為の手順書作成、テスト、訓練の実施、記録の作成 ・自部門（各拠点）の問題点の発見、是正、予防設置の実施 	
環境副責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境責任者を補佐し、各種取組みの推進 	
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 	

人が好き、街が好き、クルマが好き

ネット・ヨタ中部

環境経営計画

	環境方針	取組項目	取組計画
1	事業活動に伴う省エネルギーを推進しC O 2 排出を削減	①電力使用量の削減	適切な温度調整による冷暖房機器の電力消費抑制
			・ 空調スイッチに適正温度表示
			・ クールビズ、ウォームビズの実施
			・ 店舗、事業所に温度計設置、適正温度管理
			照明の時間管理
			・ 効率の良い働き方により消灯時間を早める
			・ 看板照明の休日、夜間消灯
			毎月の電力使用量を店舗別に報告、節電を意識づけ
			店舗の照明器具LED化推進
		②ガソリン・軽油使用料の削減	スタッフ準社用車のガソリン使用量を毎月確認、必要に応じ指導 web会議の推進による自動車移動の削減
③灯油・都市ガス・L P Gの削減	適正管理を継続		
2	廃棄物の削減およびリサイクルの推進	①一般廃棄物の削減	リサイクル分別の再徹底
			タブレット活用による会議資料削減（ペーパーレス）
		②産業廃棄物の削減	廃棄物分別の再徹底
			廃棄物物置場の整理整頓
3	事業活動に伴う水資源使用量の削減	節水の取組	水道蛇口に節水ポップの掲示 節水機器（新築店舗トイレ機器）の導入
4	化学物質使用量の削減	化学物質の適正管理	化学物質の使用量 適正管理
5	環境対応自動車の普及	H V ・ P H V販売促進	HV・PHVの販売促進 継続
6	社会貢献活動	社会貢献活動参加	ハッピーカーコンクール支援、介助犬募金
			防災拠点登録（春日井市）
7	クリーン活動	店舗周辺定期清掃	クリーン・デイ実施
			・ 毎月第2金曜日に全社で実施、公園清掃実施

人が好き、街が好き、クルマが好き

ネット・ヨタ中部

環境経営目標・達成状況

項目 (単位)		基準	2023年度				備 考
		2 0 2 0 年度実績		目標	実績	評価 ※2	
二酸化炭素排出量 (kg－CO2) ※ 1		2,013,880	削減率	3%	4%	○	
			値	1,953,464	1,932,747		
	電力使用量 (kwh)	2,995,743	削減率	3%	8%	○	照明のLED化・空調機の更新を実施
			値	2,905,871	2,767,416		
	ガソリン使用量 (ℓ)	252,463	削減率	3%	10%	◎	社用車のHVモデルへの入替を推進
			値	244,889	227,304		
	軽油使用量 (ℓ)	13,804	削減率	3%	-77%	×	配送業務の増加
			値	13,390	24,381		
	灯油使用量 (ℓ)	152	削減率	3%	29%	◎	温暖化の影響により、温水使用の減少
			値	147	108		
	都市ガス (Nm3)	4,114	削減率	3%	6%	○	
			値	3,991	3,859		
	L P G (kg)	0	削減率	3%	-	-	
			値	0	0		
一般廃棄物 (t)		25	削減率	3%	20%	◎	ペーパーレス化の推進。裏紙再利用の推進
			値	36	20		
産業廃棄物 (t)		163	削減率	3%	21%	◎	GHSへの業務継承に伴い、板金関連の廃棄物減少
			値	194	129		
上水道使用量 (m3)		20,602	削減率	3%	13%	○	節水型洗車機への入替
			値	19,984	17,899		
化学物質使用量 (kg)	キシレン	0.00	削減率	3%	-	-	
			値	0.24	0.00		
	トルエン	0	削減率	3%	-	-	
			値	24	0		
HV・PHV販売促進 HV・PHV比率向上		28%	増加率	10%	86%	◎	HVモデルの増加に伴い向上
			値	31%	52%		
社会貢献活動		自治体との災害時における給電車両等の 提供に関する協定		活動継続	活動実施	○	
クリーン活動		毎月第2金曜日 実施中		活動継続	活動実施	○	

※ 1

電力の二酸化炭素排出係数は(株)トヨタエナジーソリューションズ令和4年度の値0.485 kg-CO2/kwhを使用しております。
(株)トヨタエナジーソリューションズ令和1年度調整後排出係数0.468kg-CO2/kwh

※ 2

◎：大幅に目標達成できた。 ○：目標達成できた。 △：目標未達だが削減できた。 ×：削減できなかった。

※1 電力の二酸化炭素排出係数は(株)トヨタエナジーソリューションズ令和4年度の値0.485 kg-CO₂/kwhを使用しております。
(株)トヨタエナジーソリューションズ令和1年度調整後排出係数0.468kg-CO₂/kwh

※2 ◎：大幅に目標達成できた。 ○：目標達成できた。 △：目標未達だが削減できた。 ×：削減できなかった。

人が好き、街が好き、クルマが好き

ネットトヨタ中部

環境活動取組み事例 ～電気使用量の削減を目指して～



- ・照明の消灯時間、冷暖房機の設定温度等について当社のルールを作成。POPにして店舗に掲示
- ・看板等の照明はショールーム消灯時間に合わせてタイマーセット(19時消灯)



クールビズ実施と告知
毎年5/1～10/31をクールビズ期間として実施
(お客様にも告知)



温湿度計を店舗に配布
日当たり等による温度変化を確認し、冷暖房の調整に活用



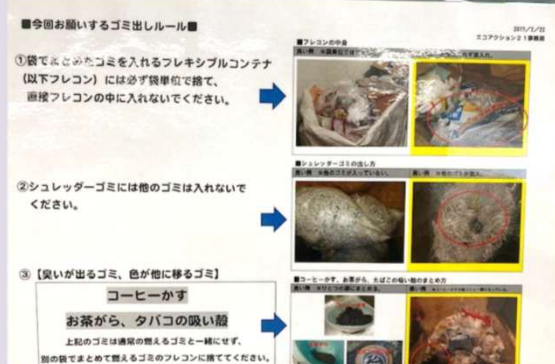
ショールーム照明LED化
全22店舗のLED照明の導入完了

環境活動取組み事例

～廃棄物排出量・水道使用量の削減を目指して～



水道使用量の削減のため、POPを作成し店舗へ配布
節水を意識づけできるように蛇口付近に掲示



・ペーパーレス活動の継続推進
社内イントラを活用し、印刷物を削減
・分別を徹底できるよう、POPを作成し掲示

- ・健康経営優良法人認定
 - ・名古屋市ワーク・ライフ・バランス推進企業認証
- 効率の良い働き方により、
資源の無駄遣いを削減

人が好き、街が好き、クルマが好き

ネット・ヨタ中部

環境活動取組み事例

～BCP活動～



BCP訓練研修の実施
店長・副店長を対象
に大地震を想定した
BCP訓練を実施



化学物質の適正管理お
よび緊急事態への対応
「オイル流出漏洩対策
キット」を設置、エン
지니어向けに研修実施



大地震への対策
①安否確認システムの導入
②防災ヘルメットと
防災リュックの設置
③災害時の対応表作
成、避難経路の共有



防災訓練の実施
(毎年9月に実施)
消火器の正しい使
い方と訓練も実施

人が好き、街が好き、クルマが好き **ネット・ヨタ中部**

環境活動取組み事例

～社会貢献活動①～

子ども食堂への寄贈

イベントで使用したノベルティの有効活用として、インスタントラーメンを寄贈しました



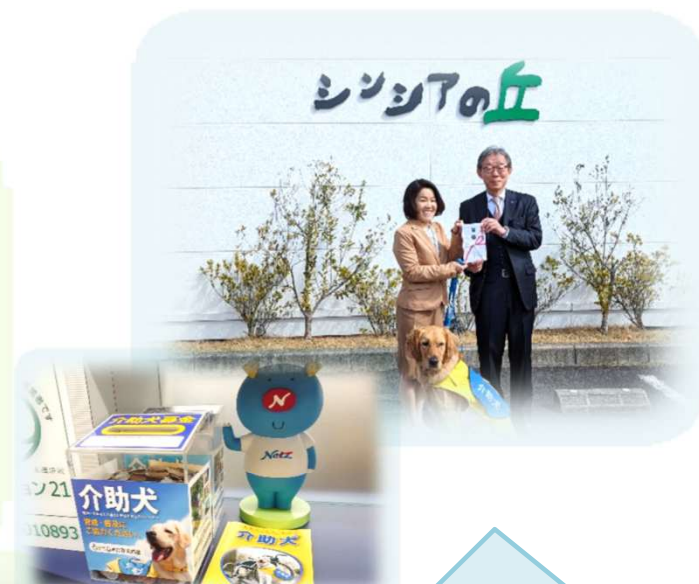
ベルマークを贈呈

全店舗でベルマークを収集し、震災被災地へ届けていただきました



日本介助犬協会へ寄付

介助犬の育成支援を目的とした募金箱を全店舗に設置



人が好き、街が好き、クルマが好き

ネットトヨタ中部

環境活動取組み事例

～社会貢献活動②～



牧野ヶ池緑地公園にて清掃ボランティアを実施
地域の皆様に気持ちよくご利用いただけるよう、雑草駆除や清掃を行いました



自治体と連携し、防災イベントに参加
HV車を用いた給電機能を体感していただき、車を通じた防災を知っていただきました



人が好き、街が好き、クルマが好き **ネット・ヨタ中部**

環境関連法規の遵守、違反、訴訟等の有無

1. 主な環境関連法規制等

法律・条例等		要求事項
廃棄物	廃棄物処理法	産業廃棄物の適正処理 収集、運搬、処理委託業者との契約締結 マニフェスト交付状況の報告
	P C B 特別措置法	毎年度、P C B 廃棄保管及び処分状況の届出
水質	水質汚濁防止法	公共用水域に排水する特定施設の設置届出
	下水道法	下水道への不適物放流禁止の遵守
	浄化槽法	保守点検ならびに水質検査の実施
大気	自動車Nox・PM法	自動車排出窒素酸化物等の排出抑制に努める
	悪臭防止法	規制基準の遵守
騒音	騒音規制法	規制基準の遵守
		騒音発生施設の設置の提出
振動	振動規制法	規制基準の遵守
		振動発生施設の設置の提出
化学物質	労働安全衛生法	化学物質等の有害性等の調査及び健康障害防止措置
	化管法	事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進
	消防法	指定数量内貯蔵の厳守
再資源化	自動車リサイクル法	使用済自動車の廃棄引渡業務の履行
オゾン層	フロン排出抑制法	引取証明書による回収、破壊の工程を確認、 機器の点検（簡易点検及び定期点検）
その他	愛知県の生活環境の保全等に関する条例	事業活動に伴う公害の防止
	廃棄物の適切な処理の促進に関する条例	廃棄物の適正な処理の促進
	トヨタ販売店CSRガイドライン	トヨタ販売店として遵守すべき環境法令などの法令遵守事項

2. 遵守状況及び違反、訴訟等の有無

- ・ 自社の遵守状況評価で問題がないことを確認しました。
- ・ 環境関連法規への違反はありませんでした。
- ・ 関係当局より違反等の指摘も過去3年間ありませんでした。

人が好き、街が好き、クルマが好き

ネットトヨタ中部

次年度環境経営目標と環境経営計画

項目 (単位)		基準	目標			
		2023年度実績		2024年度	2025年度	2026年度
二酸化炭素排出量 (kg-CO2) ※1		1,932,747	削減率	1%	2%	3%
			目標値	1,913,420	1,894,092	1,874,765
	電力使用量 (kwh)	2,767,416	削減率	1%	2%	3%
			目標値	2,739,742	2,712,068	2,684,394
	ガソリン使用量 (ℓ)	227,304	削減率	1%	2%	3%
			目標値	225,031	222,758	220,485
	軽油使用量 (ℓ)	24,381	削減率	1%	2%	3%
			目標値	24,137	23,893	23,650
	灯油使用量 (ℓ)	108	削減率	1%	2%	3%
			目標値	107	106	105
	都市ガス (Nm3)	3,859	削減率	1%	2%	3%
			目標値	3,820	3,782	3,743
	L P G (kg)	0	削減率	1%	2%	3%
			目標値	0	0	0
一般廃棄物 (t)		20	削減率	1%	2%	3%
			目標値	19.8	19.6	19.4
産業廃棄物 (t)		129	削減率	1%	2%	3%
			目標値	128	126	125
上水道使用量 (m3)		17,899	削減率	1%	2%	3%
			目標値	17,720	17,541	17,362
化学物質使用量 (kg)	キシレン	0.00	削減率	1%	2%	3%
			目標値	0.25	0.24	0.23
	トルエン	0	削減率	1%	2%	3%
			目標値	24	23	22
HV・PHV販売促進 HV・PHV比率向上 ※2		52%	増加率	4%	7%	10%
			目標値	29%	30%	31%
クリーン活動 (店舗周辺定期清掃)		毎月第2金曜日	実施中	活動継続	活動継続	活動継続

※1 電力の二酸化炭素排出係数は中部電力の平成24年度の値0.000516 t-co₂/kwhを使っています

※2 HV/PHV比率は 新車HV/PHV登録台数/当社取扱新車登録台数(除くリース車、U-Car) 13年度 40%=2583/6363台

※3 2022.11より、トヨタGHサービスに事業承継しましたが既存の数値の変更していません

人が好き、街が好き、クルマが好き **ネットトヨタ中部**

代表者による全体評価と見直し指示

◇はじめに

当社は、環境にやさしい会社づくりを目指し、2015年11月にエコアクション21の認証を取得しました。2021年度からは、2020年度の実績を基準にして、各項目で年1%ずつ削減する3カ年計画を策定し、取り組みを推進してまいりました。今回はその最終年度である2023年度の実績を検証しました。

◇全体評価

環境経営計画に基づき、各部署および店舗での取り組み推進の結果、二酸化炭素排出量の削減目標を達成しました。電力使用量に関しては、照明のLED化・空調機の更新に加え、照明とエアコンのコントロールパネルに使用ルールを貼付し、運用を徹底することで削減に成功しました。また、ガソリンの使用量については、社用車を順次HV車に入れ替えることで削減を進めました。一般廃棄物に関しても、ペーパーレス化を加速させるとともに、本社および一部店舗で裏紙の再利用を推進し、削減を実現しました。

また、前回の審査で指摘された油水分離槽の点検に関しては、全店舗を対象に点検ルールの徹底運用と排水経路の巡回指導を実施しました。さらに、ベルマークの収集や介助犬支援の募金活動、能登半島地震への寄付、地域の清掃ボランティア参加、店舗周辺のクリーン活動など、社会貢献活動にも継続して取り組むことができました。最近では震災に備えた訓練等にも注力し、安否確認システムの訓練機会を増やし、避難訓練も定期的の実施しております。また店舗周辺地域で開催される防災イベントにも参加し、HV車を用いた非常給電機能の展開にも取り組むことができました。

来年度からは新たな3カ年計画を開始しますが、今後の方針、目標・計画及び体制の見直しは必要とせず、継続することで、環境にやさしい企業活動を推進していきます。

◇環境関連法規の遵守

廃棄物および浄化槽の管理においては、法令違反は一切ありませんでした。今後も定期的なチェックを行い、適切な管理を継続していきます。

◇総括

エコアクション21に取り組み始めて9年目を迎え、二酸化炭素排出量など各項目での実績が着実に向上しています。また、エコアクション21プロジェクトのメンバーを刷新し、新車・U-car・サービスの観点から、さらなる改善に向けた取り組みを始めました。ミーティングの頻度も毎月1回に増やし、PDCAサイクルの定着を図っています。今後はプロジェクトメンバーだけでなく全社員が意識を共有し、目標達成に向けて努力してまいります。

2024年6月27日 ネットヨタ中部株式会社
代表取締役社長 小島武彦

人が好き、街が好き、クルマが好き **ネットヨタ中部**